

# 本市の教育行政

## 「はじめに子どもありきの教育」など根幹に

### 21年度も方針定め推進

議員 本市教育委員会では「はじめに子どもありきの教育」など四点を平塚教育の根幹ととらえたうえで、毎年度方針等を定め事業を推進しているが、二十一年度の教育方針について見解を聞きたい。

教育長 「平塚教育の四つの根幹」は、平塚教育に携わるすべての人にとつての羅針盤のようなものである。二十一年度もこれらの根幹を見据えながら推進していきたい。

議員 生涯教育は、子供から大人までが各ステップで学び、育つ教育と考える。学校、社会、家庭それぞれでの教育と、それらの総体としての生涯学習社会を支える役割が教育委員会に求められる。事務局内各部門の連携は図られているのか。

教育長 市民の学びを生かした生涯学習社会を実現するため、「健全な学



社会の授業風景 (富士見小)

## 特色ある本市の博物館

### 施設等の老朽化への対応は

議員 全館テーマ展示という従来ない手法が高く評価され、後発の博物館等のモデルになったとも言われる本市博物館の特色を伺いたい。

社会教育部長 開館以来「相模川流域の自然と文化」をメインテーマに、地域博物館として調査、資料収集、展示という一連の事業を展開している。

議員 過去三年間の備品購入費の予算額と購入品を聞きたい。

社会教育部長 十八年度が三〇万円、十九年度が一六七万円、二十年度は一三二万六〇〇〇円であり、文庫図書、顕微鏡、天体望遠鏡など、調査の参考図書や資料整理用の機器が大半である。

議員 開館から三三年を迎え、施設の老朽・狭あい化のため資料の保存場

いる「博物館まつり」で公開している。

議員 過去三年間の備品購入費の予算額と購入品を聞きたい。

社会教育部長 十八年度が三〇万円、十九年度が一六七万円、二十年度は一三二万六〇〇〇円であり、文庫図書、顕微鏡、天体望遠鏡など、調査の参考図書や資料整理用の機器が大半である。

議員 開館から三三年を迎え、施設の老朽・狭あい化のため資料の保存場

## 市町村の消防の広域化

### 消防力の均等化など目的に検討

議員 現在、各都道府県で二十四年度末の消防の広域化に向けた推進計画の策定が進んでおり、神奈川県では、平塚市、藤沢市などで構成する湘南

の子供たちを地域が育てる」という地域教育力の意識の中からさまざまな団体が連携し、事業の多様化や場と機会の創出を進めることで学校への支援も可能になると考える。

議員 教職員の大量退職時代を迎え、人材の確保や育成が教育委員会の喫緊の課題と考える。これらの課題をどのように認識しているのか。

教育長 教職員の採用等については、神奈川県教育委員会の所管だが、本市教育委員会としては、

地区のブロック案などが示されているが、広域化の目的を聞きたい。

消防長 規模を広域化することにより消防力の均等化を図り、消防体制の充実強化と高度化を推進することである。

議員 推進計画において、湘南地区を四市三町として



ヘリコプターを活用した救助訓練

## 安全・快適な自転車利用へ

### 環境整備の考え聞く

議員 本市は市街地の大半が平たんので道路整備も進んでおり、「自転車の利用しやすい街」と言える。さらなる環境整備に向けた考えを聞きたい。

土木部長 第二次平塚市

都市マスタープランに位置付けられた道路と交通の整備方針に基づき、安全快適に自転車が通行できるような関係機関等と連携しながら検討していく。

議員 現在本市で行っている交通安全教室等の実施内容を聞きたい。

市民部長 保育園や幼稚園では道路や横断歩道の渡り方を、小学校では自転車の正しい乗り方を、中学校では交通マナーや自転車の危険性の指導を、高校生には自転車の交通マナーのほかバイクの危険性についての意識づけを、また高齢者には交通安全講話等を行っている。

た場合の消防吏員数や車両数を聞きたい。

消防長 消防吏員数は約一三〇〇人、消防ポンプ車五二台、救急車五〇台などである。

議員 消防署のリストラにつながる計画であり、現場への到着が遅れることを懸念する声もあると聞くが、広域化後の消防署所数はどうなるのか。

消防長 消防署および出張所をバランスよく配置できるため、現場到着時間が短縮でき迅速な消防活動が可能となる。また消防署や出張所は、市街地の人口規模に応じて設置されるため、基本的に署所数は減少しない。

メリットや課題等分科会設け協議

議員 広域化に向けて、今後どのような検討、調整が行われるのか。

消防長 「神奈川県消防広域化推進計画」に基づき協議を進める。具体的には、平成二十一年早々に四市三町で検討組織を設置する予定である。協議内容は、広域化の方式、職員配置、部隊の運用方法、指令管制などの計画、広域化のメリットや課題、中長期的な消防力の整備計画など広範囲に及ぶため、分科会を設け個別項目ごとに協議していく。

議員 仮に、今後の協議でメリットがないと判断された場合、消防の広域化は行わないということもありうるのか。

消防長 この協議は広域化を前提としたものではない。現在と広域化した場合の消防体制を比較し、詳細に検討したうえで是非を判断するものであり、協議の結果、広域化しないことも考えられる。

## 市議会を傍聴してみませんか

### 次回定例会の予定

- ・ 2月23日(月) 定例会本会議(提案説明)
- ・ 3月4日(水) 定例会本会議(代表・総括質問)
- ・ 3月11日(水) 総務経済・都市建設常任委員会
- ・ 3月13日(金) 教育民生・環境厚生常任委員会
- ・ 3月24日(火) 定例会本会議 最終日



◆湘南ケーブルネットワーク(SCN)で定例会本会議の様子をテレビ放映しています。

※生中継は午前10時(予定)から2チャンネルで、録画放映は当日の午後7時(予定)から9チャンネルでご覧ください。

## 編集後記

新年明けましておめでとございます。昨年はオリピックでの日本選手の大活躍などの明るい話題もありましたが、経済不況はいまだ長期化が懸念される状況が続いています。閉塞感漂う社会情勢の中、いかに人々に希望や元気を与えられるかが行政の使命だと感じています。

十二月議会では、平塚らしい魅力ある景観の実現を図る「平塚市景観条例」や、子育て世帯への医療費助成を充実するた

め「平塚市小児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例」が可決され、住みよいまち平塚の実現に向け活発な議論が交わされました。これからも市民の皆様に分かりやすい紙面づくりに努めますので、御愛読をお願い申し上げます。

編集委員 須藤量久 伊東尚美 山原栄一

議長 落合克宏 副議長 松崎清子 ☆ 事務担当は、議会局調査担当 電話 三三一―一一一(内線 三三六七)です。